

注3

大学番号：031

[平成22年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

事前伺い

電気通信大学 情報理工学部

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学  
平成24年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	係長 <small>コバヤシノリアキ</small> 小林律明
電話番号	042-443-5050
（夜間）	042-443-5050
F A X	042-443-5010
e-mail	kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等 . . . . .	1
2 授業科目の概要 . . . . .	17
3 施設・設備の整備状況, 経費 . . . . .	65
4 既設大学等の状況 . . . . .	66
5 教員組織の状況 . . . . .	67
6 留意事項に対する履行状況等 . . . . .	77
7 その他全般的事項 . . . . .	78

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

## (2) 大学名

電気通信大学

## (3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 総合情報学科  学士(工学)	4年	150人	3年次 6人	612人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 150 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 150 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 150 ( 6 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.03倍	
志願者数	669 ( - ) [ 9 ]	( - ) ( - ) [ - ]	769 ( - ) [ 20 ]	( - ) ( - ) [ - ]	839 ( 25 ) [ 23 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
受験者数	502 ( - ) [ 7 ]	( - ) ( - ) [ - ]	450 ( - ) [ 17 ]	( - ) ( - ) [ - ]	678 ( 23 ) [ 18 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
合格者数	175 ( - ) [ 4 ]	( - ) ( - ) [ - ]	191 ( - ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	171 ( 10 ) [ 7 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
B 入学者数	157 ( - ) [ 4 ]	( - ) ( - ) [ - ]	154 ( - ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	155 ( 7 ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.04		1.02		1.03							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[ 4 ] 157	[ - ] -	[ 5 ] 154	[ - ] -	[ 2 ] 155	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ 4 ] 157	[ - ] -	[ 5 ] 154	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		/		[ 7 ] 163	[ - ] -	[ - ] -
4年次	/						/		[ - ] -
計			[ 4 ] 157	[ 9 ] 311	[ 14 ] 472	[ - ] -			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

## (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	157 人	1 人	平成22年度	0 人	0 人	・進路変更 (1人)	0.6 %
			平成23年度	1 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	154 人	0 人	平成23年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	155 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	466 人	1 人					0.2 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 情報・通信工学科  学士(工学)	4年	210人	3年次 8人	856人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 210 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 210 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 210 ( 8 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.02倍	
志願者数	1587 ( - ) [ 15 ]	( - ) ( - ) [ - ]	1252 ( - ) [ 22 ]	( - ) ( - ) [ - ]	1247 ( 56 ) [ 31 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
受験者数	1216 ( - ) [ 12 ]	( - ) ( - ) [ - ]	639 ( - ) [ 16 ]	( - ) ( - ) [ - ]	972 ( 55 ) [ 28 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
合格者数	232 ( - ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	237 ( - ) [ 6 ]	( - ) ( - ) [ - ]	237 ( 13 ) [ 14 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
B 入学者数	217 ( - ) [ 7 ]	( - ) ( - ) [ - ]	211 ( - ) [ 5 ]	( - ) ( - ) [ - ]	217 ( 7 ) [ 10 ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]	( - ) ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.00		1.03					

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[ 7 ] 217	[ - ] -	[ 5 ] 211	[ - ] -	[ 6 ] 217	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ 7 ] 213	[ - ] -	[ 5 ] 210	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		/		[ 11 ] 220	[ - ] -	[ - ] -
4年次	/						/		[ - ] -
計			[ 7 ] 217	[ 12 ] 424	[ 22 ] 647	[ - ] -			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	217 人	4 人	平成22年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (2人) ・除籍 (2人)	1.8 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	211 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (1人)	0.5 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	217 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	645 人	5 人					0.8 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 知能機械工学科  学士(工学)	4年	140人	3年次 6人	572人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 140 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 140 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 140 ( 6 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.04倍	
志願者数	807 ( - ) [ 13 ]	( - ) [ - ]	888 ( - ) [ 21 ]	( - ) [ - ]	866 ( 23 ) [ 26 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	616 ( - ) [ 11 ]	( - ) [ - ]	434 ( - ) [ 19 ]	( - ) [ - ]	676 ( 23 ) [ 24 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	163 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	160 ( - ) [ 3 ]	( - ) [ - ]	159 ( 9 ) [ 8 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	151 ( - ) [ 5 ]	( - ) [ - ]	142 ( - ) [ 4 ]	( - ) [ - ]	147 ( 5 ) [ 5 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.01		1.05							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( )) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[ 5 ] 151	[ - ] -	[ 4 ] 142	[ - ] -	[ 5 ] 147	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ 5 ] 150	[ - ] -	[ 5 ] 141	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		/		[ 5 ] 155	[ - ] -	[ - ] -
4年次	/						/		[ - ] -
計			[ 5 ] 151	[ 9 ] 292	[ 5 ] 443	[ - ] -			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	151 人	1 人	平成22年度	1 人	0 人	・除籍 (1人)	0.7 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	142 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (1人)	0.7 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	147 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	440 人	2 人					0.5 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 先進理工学科  学士(工学)	4年	190人	3年次 8人	776人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 190 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 190 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 190 ( 8 ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	人 ( - ) [ - ]	1.03倍	
志願者数	1046 ( - ) [ 7 ]	( - ) [ - ]	917 ( - ) [ 6 ]	( - ) [ - ]	903 ( 25 ) [ 17 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	790 ( - ) [ 4 ]	( - ) [ - ]	429 ( - ) [ 3 ]	( - ) [ - ]	684 ( 22 ) [ 13 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	219 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	227 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	216 ( 14 ) [ 7 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	194 ( - ) [ 4 ]	( - ) [ - ]	194 ( - ) [ 2 ]	( - ) [ - ]	200 ( 10 ) [ 7 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.02		1.05							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[ 4 ] 194	[ - ] -	[ 2 ] 194	[ - ] -	[ 4 ] 200	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ 4 ] 194	[ - ] -	[ 2 ] 193	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		/		[ 7 ] 204	[ - ] -	[ - ] -
4年次	/						/		[ - ] -
計			[ 4 ] 194	[ 6 ] 388	[ 13 ] 597	[ - ] -			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

## (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	194 人	0 人	平成22年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成23年度	0 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	194 人	2 人	平成23年度	2 人	0 人	・他の教育機関への入学、転学 (2人)	1.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	200 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	588 人	2 人					0.3 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
情報理工学部 先端工学基礎課程 (夜間主) 学士(工学)	4年	100人	3年次 5人	410人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 ( - ) [ - ]	人	100 ( - ) [ - ]	人	100 ( - ) [ - ]	人	( - ) [ - ]	人	1.01倍	
志願者数	168 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	225 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	199 ( 2 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
受験者数	167 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	218 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	198 ( 2 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
合格者数	108 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	104 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	104 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
B 入学者数	102 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	100 ( - ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	102 ( 1 ) [ 0 ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.00		1.02					

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[ 0 ] 102	[ - ] -	[ 0 ] 100	[ - ] -	[ 0 ] 102	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
2年次	/		[ 0 ] 99	[ - ] -	[ 0 ] 96	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
3年次			/		[ 0 ] 94	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	
4年次					/		[ - ] -	[ - ] -	
計			[ 0 ] 102	[ 0 ] 199			[ 0 ] 292	[ - ] -	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(情報理工学部 先端工学基礎課程(夜間主))  
 (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	102 人	9 人	平成22年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (1人) ・進路変更 (1人) ・除籍 (1人) ・他の教育機関への入学・転学 (3人) ・就職 (1人) ・除籍 (2人)	8.8 %
			平成23年度	6 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	100 人	4 人	平成23年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学 (3人) ・除籍 (1人)	4.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	102 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	304 人	13 人					4.3 %

- (注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
  - 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
  - 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 総合情報学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A		2		1							
		哲学B	2・3後	2		1							
		倫理学A	2・3前	2				1					
		倫理学B	2・3後	2				1					
		心理学A	2・3前	2				1					
		心理学B	2・3後	2				1					
		歴史学A	2・3前	2									
		歴史学B	2・3後	2									
		科学史A	2・3前	2				1					
		科学史B	2・3後	2				1					
		文学A	2・3前	2			1						
		文学B	2・3後	2			1						
		美術A	2・3前	2									
		美術B	2・3後	2									
		音楽A	2・3前	2									
		音楽B	2・3後	2									
		経済学A	2・3前	2									
		経済学B	2・3後	2									
		社会学A	2・3前	2									
		社会学B	2・3後	2									
		法学A	2・3前	2									
		法学B	2・3後	2									
		政治学A	2・3前	2					1				
		政治学B	2・3後	2					1				
		地理学A	2・3前	2									
		地理学B	2・3後	2									
社会思想史A	2・3前	2											
社会思想史B	2・3後	2											
文化人類学A	2・3前	2											
文化人類学B	2・3後	2											
文章表現法	2・3前	2			1								
技術史	2・3前	2					1						
言語文化科目	言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1前	1			3 3-4	2 4	3 3			<p>教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24)</p> <p>専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)</p> <p>より教育内容に即した担当教員への変更 (22)</p> <p>教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24)</p> <p>専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)</p> <p>専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)</p> <p>教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24)</p> <p>専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)</p> <p>より教育内容に即した担当教員への変更 (22)</p> <p>教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24)</p> <p>専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)</p> <p>専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)</p>	
		Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5	4 4				
		Academic Written English II	1後	1				3 3-4	2 4	3 3			
		Academic Spoken English II	1後	1				2 3	3 5	4 4			
		Academic English for the Second Year I	2前	1				3 3	2 1	1 0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
科目 I  言語文化 基礎科目II  言語文化 応用科目II  言語文化 演習科目  日本語・ 日本文化 科目	Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	1	0			教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語第一	1・2前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	独語第二	1・2後		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	仏語第一	1・2前		1		4	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)	
	仏語第二	1・2後		1		4	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)	
	露語第一	1・2前		1				1					
	露語第二	1・2後		1				1					
	中国語第一	1・2前		1									
	中国語第二	1・2後		1									
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1									
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1									
	選択独語第一	1~4前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	選択独語第二	1~4後		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	選択仏語第一	1~4前		1					1				
	選択仏語第二	1~4後		1					1				
	選択露語第一	1~4前		1						1			
	選択露語第二	1~4後		1						1			
	選択中国語第一	1~4前		1			1						
	選択中国語第二	1~4後		1			1						
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1									
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1									
	英語演習	2前		2		4	3	3	4	1			教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語演習	2前		2		4	0	4	0				専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語運用演習	2後		2				4	0				専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
仏語演習	2前		2						1				
仏語運用演習	2後		2						1				
露語演習	2前		2							1			
露語運用演習	2後		2							1			
中国語演習	2前		2			1							
中国語運用演習	2後		2			1							
韓国朝鮮語演習	2前		2										
韓国朝鮮語運用演習	2後		2										
日本語演習	2後		2										
国際文化演習	2前		2										
言語表現演習	2前		2										
日本語第一	1前		2		4	2	4	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
日本語第二	1後		2		4	2	4	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
日本語第三	2前		2		1							教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
日本文化A	1前			2									
日本文化B	1後			2									
日本文化C	2前			2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康スポーツ科学科目	日本文化D	2後		2								
	日本文化E	2前		2			1					
	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4	3				専任教員1名が平成24年度に専任教員に昇任。また、教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員3名で対応(24) 専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			4	2	3	5	4		専任教員が平成23年度に定年退職のため、専任教員に変更。また、専任教員2名が平成23年度及び平成24年度に専任教員に昇任(24) 専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		4	2	3	1	2		専任教員1名が平成24年度に専任教員に昇任(24) 専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1		1				
	生涯スポーツ演習C 生涯スポーツ演習D	2・3・4集中 2・3・4集中		1 1								
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2・3後		2		4	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22) 学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	UEC/パスポートセミナー	1後		2		1		1				学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	生物学	1・2・3後		2				1				
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		4	0	4	0			専任教員が平成23年度に専任教員に昇任(24) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。 より教育内容に即した担当者に変更(23)
	材料化学	1・2後		2		2	4	4	0			専任教員が平成23年度に専任教員に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)
	現代数学入門A	1・2・3後 2・3・4前		2		4	0		1			現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
現代数学入門B	2・3・4前		2		1		4	0			現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更(24)	
上級科目	A類 文化と現代社会	エートス論	3・4前		2			1				
		人間と外交	3・4後 前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
		現代の世界政治	3・4後		2			1				
		宗教と倫理	3・4後		2			1				
		現代の教育	3・4前		2		1					
		教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2		1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
		教育の歴史	3・4後		2		1					
	人間と教育	3・4後		2		1						
B類 言語によるコミュニケーション	日本語による文章表現	3・4前 後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)	
Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)		
Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)		
Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ニ ケ ー シ ョ ン	Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)		2		1	0					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更するとともに、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(24)
	English for Intercultural Communication	3・4後 (奇数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2			1					
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2			1					
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2								
外国語とその運用B【独語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2				1					
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2			1						
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C 類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)
	異文化の理解											
	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前 後		2				1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	文化と言語	3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
D 類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	1	2			専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2				1				
	倫理思想論	3・4後		2				1				
E 類	数学の哲学	3・4前		2		1						
	科学技術と人間	3・4前		2					1			
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2					1			
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2								
F 類	情報と職業	3・4前		2								
	御伽草子の想像力	3・4前		2		1						
G 類	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
	環境論	3・4前 後		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
現代の科学	認知科学	3・4後		2			1					<p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)</p> <p>学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)</p> <p>教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)</p> <p>教育内容充実のため、専任教授6名、専任准教授6名で対応(24)</p>	
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	2						
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	2						
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1							
	応用幾何学	3・4前		2			1						
	応用代数学	3・4後		2			1						
	現代化学	3・4後		2		6	6						
	H類 健康とスポーツの科学	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1					<p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)</p>
		運動と筋の科学	3・4後 前		2		1	4	0				
		健康の科学	3・4後		2		1						
エイジングの健康科学		3・4前		2		1							
スポーツとコミュニケーション		3・4後		2			1						
体力の科学		3・4後		2			1						
日常生活の対人関係		3・4前		2		1	4	0					
現代社会と対人関係	3・4後		2		1	4	0						
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			4	0			<p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p>		
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			4	0					
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			4	0					
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			4	0					
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			4	0					
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			4	0					
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			4	0					
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			4	0					
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			4	0					
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			4	0					
実践教育科目	初年次導入科目 基礎科学実験A	1通	2			3 5	4 7	9 4	5 7	12 12	14 10	<p>専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更(23)</p> <p>実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)</p>	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	基礎科学実験B	1通	2			4 2	3 3	4 2			3	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24)より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)	
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	4 1	4 5	1 1	2 2	4 1	3 5	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			4 7	2 7	8 9			2 5	1 1	専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1										就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1										就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1前 <del>1通(隔週開講)</del> 1→2前	2			6	0						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4							教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1→2後 2→3前	2			1							教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2→3前 2→3後	2			1							キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2	3		1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前	2 2					4 4					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	ベンチャービジネス概論	3→4後 前	2			1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	知的財産権 技術者倫理	3→4前 後 3→4後	2 2										教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7	3					専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7	3					専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)
専門科目	理数基礎科目												
	微積分学第一	1前	2			4 1	3 1	2 3	1 1	0			専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任教授に昇任(22)
	微積分学第二	1後	2			2	3 2	4 4					教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)
	線形代数学第一	1前	2			2 1	3 1	1 2	1 1	0			専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
	線形代数学第二	1後	2			2	1	4	2			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)			
	解析学	1後	2			3	2	2	1	0		専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)			
	数学演習第一	1前	1			1	0	3	1	2		教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)			
	数学演習第二	1後	1					3	4	1	0	教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)			
	物理学概論第一	1前	2			10	6	2	6	3		教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22) 専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)			
	物理学概論第二	1後	2			7	6	5	6	4		より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)			
	化学概論	1前	2			2	4	5	4	3		専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)			
学科 専門 基礎 科目	離散数学	2前	2			2									
	確率論	2前	2			1			1						
	オペレーションズ・リサーチ基礎	2後	2			2	1					平成22年度に専任教授1名が定年退職のため、専任教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)			
	アルゴリズムとデータ構造並びに同演習	2前	3			1	3	2				専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24)			
	プログラミング演習	2後	1			4	2	1	3	2		専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(23)			
	計算機工学	2後	2			1									
	総合情報学基礎	2後	2			13	17	15	14	19	2	11	8	9	専任准教授4名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名、専任助教11名で対応(24) 教育内容充実のため、専任教授13名、専任准教授19名、専任講師2名、専任助教9名で対応(23)
	電気・電子回路	2通		4		2									
	応用数学	2前		2		2									
	数値解析	2後		2		1									
論理回路	2後		2		1										
統計学	2後		2		4	2	4	0				専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)			
① 専門 科目	プログラミング言語実験	3前	2			13	17	14	15	2	8	11	教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名及び専任助教11名で対応(24)		
	メディア情報学実験	3後	2			4		7			4				
	輪講	4前	1			13		14		2	8				
	卒業研究	4後	4			13		14		2	8				
	メディアリテラシー	3前		2				1							
	コミュニケーション論	3前		2				4	0				専任准教授が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)		
	インタラクティブシステム	3前		2				1							
	物体認識論	3前 後		2				1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)		
	メディア情報学特別講義	3前		2											

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	人間工学	3前		2		1							
	計算機アーキテクチャー	3前		2		1							
	オペレーティングシステム	3後		2		1							
	情報通信システム	3前		2			2						
	メディア論	3後		2		1							
	メディア分析法	3前		2			1						
	認知工学	3後		2			1						
	ビジュアル情報処理	3後 前		2			1					教育体系のバランスを考慮し、開講 学期を変更(23)	
	知的情報処理	3後		2		1	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教授 に昇任(24)	
	心理情報学	3後		2			1						
	メディアネットワーク	3前		2		1				1			
	ソフトウェア工学	3後		2									
	ユビキタスネットワーク	3後		2		1						教育内容充実のため、専任准教授で 対応(24)	
	コンピュータネットワーク	3後 前		2			1					教育体系のバランスを考慮し、開講 学期を変更(23)	
	情報と法規	3前		2									
	社会情報論	3前		2		1							
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任(23)	
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任(23)	
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准 教授に昇任(23)	
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2		教育内容充実のため、専任准教授1 名、専任講師2名で対応(22)	
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准 教授に昇任(23)	
	情報処理演習第一	2前		2				1					
	情報処理演習第二	2後		2				1					
②	プログラミング言語実験	3前	2			13	17	14	15	2	8	11	教育内容充実のため、専任教授17 名、専任准教授15名、専任講師2名及 び専任助教11名で対応(24)
経営 情報 学 コ ー ス	経営情報学実験	3後	2			5	3	2		2			
	輪講	4前	1			13	14	2		8			
	卒業研究	4後	4			13	14	2		8			
	経済性工学	3前		2		1	1	0					専任准教授が平成23年度に専任教授 に昇任(24)
	生産管理	3前		2		1	0	1					専任教授が平成22年度に定年退職の ため、専任准教授で対応(24)
	人間工学	3前		2		1							
	オペレーションズ・リサーチ	3前		2		1							
	データベース論	3前		2			1						
	情報通信システム	3前		2			2						
	経営情報学特別講義	3前		2									
	コミュニケーション論	3前		2			1	0					専任准教授が平成23年度に転出のた め、兼任教員で対応。なお、学生の 教育に支障はない。(24)
	アルゴリズム論	3前		2			1						
	信頼性工学	3後		2		1							
	品質管理	3後 前		2		1							教育体系のバランスを考慮し、開講 学期を変更(23)
	心理情報学	3後		2			1						
	マーケティング科学	3後		2									
	金融工学	3後		2		1	1	0					専任准教授が平成23年度に専任教授 に昇任(24)
	ソフトウェア工学	3後		2					1				
	認知工学	3後		2			1						
	多変量解析	3後		2		1	1	0					専任准教授が平成24年度に専任教授 に昇任(24)
	情報と法規	3前		2									
	社会情報論	3前		2		1							
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准 教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2			教育内容充実のため、専任准教授1 名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准 教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2			教育内容充実のため、専任准教授1 名、専任講師2名で対応(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	③	情報処理演習第一			2				1			教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授15名、専任講師2名及び専任助教11名で対応(24)		
		情報処理演習第二			2				1					
	セキュリティ情報学コース	プログラミング言語実験	3前	2			13	17	14	15	2		8	11
		セキュリティ情報学実験	3後	2			5		4				1	
		輪講	4前	1			13		14		2			8
		卒業研究	4後	4			13		14		2			8
		コンテンツセキュリティ	3後		2		1							
		ネットワークセキュリティ	3後		2					1				
		ユビキタスネットワーク	3後		2		1							
		オペレーティングシステム	3後		2		1							
		数論アルゴリズム	3前		2		1							
		物体認識論	3後		2					1				
		情報通信システム	3前		2					2				
		メディアネットワーク	3前		2		1							
		暗号理論	3後		2		1							
		ソフトウェアセキュリティ	3後		2					1				
		ハードウェアセキュリティ	3後		2					1				
		計算機アーキテクチャー	3前		2		1							
		アルゴリズム論	3前		2					1				
		ソフトウェア工学	3後		2						1			
		コンピュータネットワーク	3後 前		2					1				
		信頼性工学	3後		2		1							
		情報と法規	3前		2									
		セキュリティ情報学特別講義	3前		2									
		社会情報論	3前		2		1							
		基礎数学演習第一	1前		1				1	2	1		0	
	基礎数学演習第二	1後		1				1	2	1	0			
	基礎物理学演習第一	1前		1				2	1	1	2			
	基礎物理学演習第二	1後		1				2	1	1	2			
	情報処理演習第一	2前		2						1				
	情報処理演習第二	2後		2						1				

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 46	科目 251	科目 0	科目 297	科目 48	科目 256	科目 0	科目 304	
				[ 2 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 7 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 情報・通信工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	哲学A	2・3前		2		1						
	哲学B	2・3後		2		1						
	倫理学A	2・3前		2			1					
	倫理学B	2・3後		2			1					
	心理学A	2・3前		2			1					
	心理学B	2・3後		2			1					
	歴史学A	2・3前		2								
	歴史学B	2・3後		2								
	科学史A	2・3前		2			1					
	科学史B	2・3後		2			1					
	文学A	2・3前		2		1						
	文学B	2・3後		2		1						
	美術A	2・3前		2								
	美術B	2・3後		2								
	音楽A	2・3前		2								
	音楽B	2・3後		2								
	経済学A	2・3前		2								
	経済学B	2・3後		2								
	社会学A	2・3前		2								
	社会学B	2・3後		2								
	法学A	2・3前		2								
	法学B	2・3後		2								
	政治学A	2・3前		2				1				
	政治学B	2・3後		2				1				
	地理学A	2・3前		2								
	地理学B	2・3後		2								
社会思想史A	2・3前		2									
社会思想史B	2・3後		2									
文化人類学A	2・3前		2									
文化人類学B	2・3後		2									
文章表現法	2・3前		2			1						
技術史	2・3前		2				1					
言語文化科目	言語文化基礎科目Ⅰ	1前	1			3 3-4	2 4-3	3				教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5-4	4				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Written English II	1後	1			3 3-4	2 4-3	3				教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	3 5-4	4				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用科目Ⅰ	Academic English for the Second Year I	2前	1			3 2	1 0					教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the Second Year II	2後	1			3 2	1 0					教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
言語文化Ⅱ	独語第一	1・2前		1		1 0	1					平成22年度に専任准教授の補充による変更 (23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目Ⅱ	独語第二	1・2後		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	仏語第一	1・2前		1		1	0					
	仏語第二	1・2後		1		1	0					
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								
	言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1~4前		1		1	0	1			平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
		選択独語第二	1~4後		1		1	0	1			
		選択仏語第一	1~4前		1							
		選択仏語第二	1~4後		1							
		選択露語第一	1~4前		1				1			
		選択露語第二	1~4後		1				1			
		選択中国語第一	1~4前		1			1				
		選択中国語第二	1~4後		1			1				
		選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1							
		選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1							
	言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3	3			教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応(24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
		独語演習	2前		2		1	0	1	0		
		独語運用演習	2後		2				1	0		
		仏語演習	2前		2							
		仏語運用演習	2後		2							
		露語演習	2前		2				1			
		露語運用演習	2後		2				1			
		中国語演習	2前		2			1				
中国語運用演習		2後		2			1					
韓国朝鮮語演習		2前		2								
韓国朝鮮語運用演習		2後		2								
日本語演習		2後		2								
国際文化演習		2前		2								
言語表現演習	2前		2									
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			1	2	1	0		専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
	日本語第二	1後	2			1	2	1	0			
	日本語第三	2前	2				1					
	日本文化A	1前		2								
	日本文化B	1後		2								
	日本文化C	2前		2								
日本文化D	2後		2									
日本文化E	2前		2					1				
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1					1	4	3	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	健康論	1・2後	1			1	2	3	5	4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1	2	1	3	2		専任教員1名が平成24年度に専任教員に昇任(24) 専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1		1				
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1								
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1								
理工系 教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2-3後		2		1	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	UEC/パスポートセミナー	1後		2		1	1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	生物学	1・2・3後		2			1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1	0	1	0			専任教員が平成23年度に専任教員に昇任(24) 教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。 より教育内容に即した担当者に変更(23)
	材料化学	1・2後		2		2	1	1	0			専任教員が平成23年度に専任教員に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)
	現代数学入門A	1-2-3後 2・3・4前		2		1	0	1				現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更(24)
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	1	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更(24)	
上級科目	A類	エートス論		2			1					
	文化と現代社会	人間と外交	3・4後 前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
		現代の世界政治	3・4後		2			1				
		宗教と倫理	3・4後		2			1				
		現代の教育	3・4前		2		1					
		教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2		1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
		教育の歴史	3・4後		2		1					
人間と教育	3・4後		2		1							
B類	日本語による文章表現	3・4前 後		2		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	言語によるコミュニケーション	Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)
		Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
		Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)
		Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)		2			1				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)
		English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)		2		1	0				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更するとともに、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(24)
		English for Intercultural Communication	3・4後 (奇数年度開講)		2			1				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
		Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
		Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
		Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
Preparation for Graduate School		3・4後 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2			1					
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2								
	外国語とその運用B【独語】	3・4後		2								
	外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2								
	外国語とその運用B【露語】	3・4後		2			1					
	外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2			1					
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)
異文化の理解	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前 後		2				1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	文化と言語	3・4後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
D類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
日 本 学	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	1	2			専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2				1				
	倫理想論	3・4後		2				1				
E類	数学の哲学	3・4前		2		1						
科学技術と人間	科学技術と人間	3・4前		2								
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2								
情報と職業	3・4前		2									
F類	御伽草子の想像力	3・4前		2		1						
芸術と人間	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
	環境論	3・4前 後		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
G類	認知科学	3・4後		2				1				
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2		2				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2		2				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	応用幾何学	3・4前		2				1				教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	応用代数学	3・4後		2				1				
	現代化学	3・4後		2		6		6				教育内容充実のため、専任教授6名、専任准教授6名で対応(24)
H類	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2				1				
健康とスポーツの科学	運動と筋の科学	3・4後 前		2		1		1	0			教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	健康の科学	3・4後		2		1						
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2				1				
	体力の科学	3・4後		2				1				
	日常生活の対人関係	3・4前		2		1		1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際科目	現代社会と対人関係	3・4後		2		1	+	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			+	0				専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
Applicable Modelling with Mathematics 1	3~4前 4前		2					1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)
Applicable Modelling with Mathematics 2	3~4後 4後		2					1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)
実践教育科目	初年次導入科目											
	基礎科学実験A	1通	2			3 5	4 7	9 1	5 7	12 12	14 10	専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 2	2 2		3	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)
	コンピューターテラシー	1前	2			2 3	4 1	4 5	3 3	1 1	4 1	3 5
基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	2	7	8 9		2 5	1 1	専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1前 1通(隔週開講) 1~2前	2			6		0				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4						教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1~2後 2・3前	2			1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後		2		1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更 (23)	
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通		2 3		1						キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更 (23)	
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前		2 2			4 4						
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前		2		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (23)	
	知的財産権	3・4前 後		2								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (23)	
	技術者倫理	3・4後		2									
	技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7	3				専任教員の負担軽減のため、専任教員7名、専任教員3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)
		Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7	3				専任教員の負担軽減のため、専任教員7名、専任教員3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)
		微分積分学第一	1前	2		4	3	2 1 3	1	0			専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任教員2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任教員に昇任 (22)
		微分積分学第二	1後	2		2		3 4 2 4					教育内容充実のため、専任教員2名、専任教員4名で対応 (24) 専任教員の負担軽減のため、専任教員2名、専任教員3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教員2名、専任教員4名で対応 (22)
		線形代数学第一	1前	2		2	1	3 1 1 2	1	0			専任教員の負担軽減のため、専任教員1名、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員3名で対応 (23) 専任教員の負担軽減のため、専任教員1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任教員に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		線形代数学第二	1後	2		2	1	1 2					教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員2名で対応 (23) 専任教員の負担軽減のため、専任教員1名、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	解析学	1後	2				3 2 1 0	2	0	1	0	専任教員1名が平成23年度に定年退職のため、専任教員2名、専任教員2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教員3名、専任教員2名で対応 (23) 専任教員、専任講師(平成21年度に専任教員に昇任)の負担軽減のため、専任教員3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	数学演習第一	1前	1			1	0 3 1 2					教育内容充実のため、専任教員3名で対応 (24) より教育内容に即した担当者に変更 (23)	
	数学演習第二	1後	1				3 4 2 4	1	0			専任教員の負担軽減のため、専任教員3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教員4名で対応 (うち1名は平成21年度に専任講師から専任教員に昇任) (22)	
	物理学概論第一	1前	2			10 6 9	2 6 3					専任教員1名が平成24年度に専任教員に昇任 (24) より教育内容に即した担当者への変更 (22)	
	物理学概論第二	1後	2			7 6 8	5 6 4					より教育内容に即した担当者への変更 (23) より教育内容に即した担当者への変更 (22)	
	化学概論	1前	2			2 4 4 5	5 3 2 3					専任教員2名が平成23年度及び平成24年度に専任教員に昇任 (24) 専任教員の負担軽減のため、専任教員2名、専任教員5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教員5名、専任教員3名で対応 (22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
学科 専門基礎科目	プログラミング通論	2後	2				1 2	3	1 1	0		専任教員の負担軽減のため、専任教員1名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任講師が平成22年度に専任教員に昇任(23)		
	応用数学	2前	2				1	2				教育内容充実のため、専任教員2名で対応(23)		
	基礎電磁気学	2後	2			1	2	1				教育内容充実のため、専任教員2名、専任教員1名で対応(23)		
	複素関数論	2前	2			1	0	1	2			より教育内容に即した担当者に変更(24)		
	離散数学	2前	2			1	0	1	2			専任教員が平成23年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員2名で対応(23)		
	情報・通信演習1	2前	1			1	0	1	0	3	0	13	2	情報・通信工学に必要な応用数学等の基礎的な科目を効果的に修得させるため演習形式で行うもので、授業内容の統一性を図るため少数の適任者が担当することとした。(23)
	情報・通信演習2	2後	1			3	2	3	1	3	0	13	0	専任教員1名が平成23年度に専任教員に昇任(24) 情報・通信工学に必要な基礎電磁気学等の基礎的な科目を効果的に修得させるため演習形式で行うもので、授業内容の統一性を図るため少数の適任者が担当することとした。(23)
	基礎電気回路	2後	2			1	2	3					専任教員1名が平成23年度に専任教員に昇任(24) 教育内容充実のため、専任教員3名で対応(23)	
	プログラミング演習	2後	1			2	1	1	2				より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	情報・通信工学基礎	2後	2			4	0	2					専任教員の負担軽減のため、専任教員2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	情報通信と符号化	2後		2		1	2						教育内容充実のため、専任教員2名で対応(23)	
	力学	2前		2		1								
	波動と光	2前		2		1	1						教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員1名で対応(23)	
	量子力学	2後		2		1	0	1					より教育内容に即した担当者への変更(23)	
	確率統計	2前		2		1	2						教育内容充実のため、専任教員2名で対応(23)	
	基礎電子工学	2後		2		1	0	1					専任教員の負担軽減のため、専任教員1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
数値計算	2後		2		1	1						教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員1名で対応(24)		
計算機通論	2前		2		1	1						教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員1名で対応(23)		
① 専門科目	情報通信システム実験第一	3前	3			4	4	1		6				
	情報通信システム実験第二A	3後	2			4	4	1		6				
	情報通信システム実験第二B	3後	1			4	4	1		6				
	輪講	4前	1			18	18	3		13				
	卒業研究	4後	4			18	18	3		13				
	電気数学	3前	2			1	2	0	1				専任教員の負担軽減のため、専任教員1名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	回路システム学	3前	2			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	回路システム学演習	3前	1			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	解析電磁気学	3前	2			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	解析電磁気学演習	3前	1			1	2	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	論理回路学	3前		2			2	1					専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	電子回路学	3後		2		1	0	1					専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	計測工学	3後		2		1	0	1					専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	信号処理論	3前		2		1	0	1					専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	通信システム学	3後		2		2	1	2	0				専任教員及び専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	情報理論	3前		2		2	1						専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
符号理論	3後		2				1							
集積回路学	4前		2		1									
コンピュータネットワーク	3後		2				1							
伝送回路論	3後		2		1	2	0					専任教員の負担軽減のため、専任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	アルゴリズムとデータ構造論	4前		2		10	7	1		5				
	電磁波工学	4前		2			1							
	暗号理論	4前		2		1								
	線形システム理論	3後		2		1	0		1		より教育内容に即した担当者に変更(24)			
	統計数学	3後		2										
	光通信工学	4前 3後		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)			
	電子工学工房	1~4通		2		4	1	7	6	1	0	1	2	専任教授、専任准教授、専任講師の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授6名、専任助教2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	宇宙通信工学	3~4通		2		1		2						
	通信法規	4後		2										
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2		1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2		1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1				2		1		2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後		1				1		1		2		教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2						1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第二	2後		2						1				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
②	電子情報システム実験第一	3前	3			4	7	1		1				
	電子情報システム実験第二A	3後	2			4	7	1		1				
	電子情報システム実験第二B	3後	1			4	7	1		1				
	輪講	4前	1			18	18	3		13				
	卒業研究	4後	4			18	18	3		13				
	電気数学	3前	2			1	2	0		1				専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任講師1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	回路システム学	3前	2			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	回路システム学演習	3前	1			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	電子回路学	3後	2			1	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	論理回路学	3前	2				2	1						専任准教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	電子工学工房	1~4通	2			4	1	7	6	1	0	1	2	専任教授、専任准教授、専任講師の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授6名、専任助教2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	宇宙通信工学	3~4通	2			1		2						
	計測工学	3後	2			1	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	解析電磁気学	3前	2			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	解析電磁気学演習	3前	1			1	2	1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	電磁波工学	4前	2					1						
	伝送回路論	3後	2			1	2	0						専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	信号処理論	3前	2			1	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	線形システム理論	3後	2			1	0			1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	情報理論	3前	2				1							
	集積回路学	4前	2				1							
	電子機器システム学	3後	2			1	0	1						専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	音響工学	4前	2			1								
	画像処理工学	4前	2							1				
	アルゴリズムとデータ構造論	4前	2			10	7	1				5		
	通信法規	4後	2											
	基礎数学演習第一	1前	1				1	2		1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後	1				1	2		1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前	1					2		1		2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後	1					1		1		2		教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前	2							1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第二	2後	2							1				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
③	情報数理工学実験第一	3前	4			4	3	3			2			専任教授1名が平成23年度に定年退職。なお、学生の教育に支障はない。(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報理工学コース	情報数理システム実験第二A	3後	2			4	3			2	専任教員1名が平成23年度に定年退職。なお、学生の教育に支障はない。(24) 実験内容に即した科目名称に変更(22) 専任教員1名が平成23年度に定年退職。なお、学生の教育に支障はない。(24) 実験内容に即した科目名称に変更(22) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(24) 専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名、専任助教3名で対応(24) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
	情報数理工学実験第二A											
	情報数理システム実験第二B	3後	2			4	3			2		
	情報数理工学実験第二B											
	輪講	4前	1			18	18	3	13			
	卒業研究	4後	4			18	18	3	13			
	シミュレーション理工学第一	3後	2			1						
	アルゴリズム論第一	3前	2				1	1	0			
	数値解析	3前	2			1						
	論理設計学	3前		2			2	0				
	オートマトン理論	3前		2		1						
	言語処理系論	3前		2		1						
	ヒューマンインタフェース	3前		2			1					
	プログラム言語論	3前		2		1						
	コンピュータグラフィックス	3前 4後		2			1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング 第一	3後		2			1					
	数理解析	3後		2		1						
	コンピュータ設計論	3後		2			1					
	アルゴリズム論第二	3後		2		1						
	コンピュータネットワーク	3後		2			1					
	データベース論	4前		2								
	数理計画法	3後		2		1						
	統計数学	3後		2								
	シミュレーション理工学第二	4前		2		2	3					
	ハイパフォーマンスコンピューティング 第二	4後		2		1						
	知的情報処理	4後		2		1						
	計算理論	4後		2		1						
	情報工学工房	1~4通		2		1	3			3		
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1	1	2		
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2		
	情報処理演習第一	2前		2					1			
情報処理演習第二	2後		2					1				
④ 専門科目	コンピュータサイエンス実験第一	3前	4			6	4	5	1	0	3	専任講師1名が平成22年度に准教授に昇任(24)
	コンピュータサイエンス実験第二A	3後	2			6	4	5	1	0	3	専任講師1名が平成22年度に准教授に昇任(24)
	コンピュータサイエンス実験第二B	3後	2			6	4	5	1	0	3	専任講師1名が平成22年度に准教授に昇任(24)
	輪講	4前	1			18	18	3	13			
	卒業研究	4後	4			18	18	3	13			
	アルゴリズム論第一	3前	2				1	1	0			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(24)
	論理設計学	3前	2				2	0				専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	オペレーティングシステム論	3後	2			1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	オートマトン理論	3前		2		1						
	プログラム言語論	3前		2		1						
	言語処理系論	3前		2		1						
	ヒューマンインタフェース	3前		2			1					
	シミュレーション理工学第一	3後		2		1						
	コンピュータグラフィックス	3前 4後		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	ソフトウェア工学	3後		2		1						
	コンピュータ設計論	3後		2			1					
	コンピュータネットワーク	3後		2			1					
	アルゴリズム論第二	3後		2		1						
	ハイパフォーマンスコンピューティング 第一	3後		2			1					
	数理解析	3後		2		1						
データベース論	4前		2									
数理計画法	4前-3後		2		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)	
統計数学	3後		2									
知的情報処理	4後		2		1							
計算理論	4後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	情報工学工房	1~4通		2		1	3			3		教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名、専任助教3名で対応(24) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22) 専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		
	基礎物理学演習第一	1前		1			2		1			
	基礎物理学演習第二	1後		1			2		1			
	情報処理演習第一	2前		2					1			
	情報処理演習第二	2後		2					1			

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
73	273	0	346	75	278	0	353	
				[ 2 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 7 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 知能機械工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	哲学A	2・3前		2		1						
	哲学B	2・3後		2		1						
	倫理学A	2・3前		2			1					
	倫理学B	2・3後		2			1					
	心理学A	2・3前		2			1					
	心理学B	2・3後		2			1					
	歴史学A	2・3前		2								
	歴史学B	2・3後		2								
	科学史A	2・3前		2			1					
	科学史B	2・3後		2			1					
	文学A	2・3前		2		1						
	文学B	2・3後		2		1						
	美術A	2・3前		2								
	美術B	2・3後		2								
	音楽A	2・3前		2								
	音楽B	2・3後		2								
	経済学A	2・3前		2								
	経済学B	2・3後		2								
	社会学A	2・3前		2								
	社会学B	2・3後		2								
	法学A	2・3前		2								
	法学B	2・3後		2								
	政治学A	2・3前		2				1				
	政治学B	2・3後		2				1				
	地理学A	2・3前		2								
	地理学B	2・3後		2								
社会思想史A	2・3前		2									
社会思想史B	2・3後		2									
文化人類学A	2・3前		2									
文化人類学B	2・3後		2									
文章表現法	2・3前		2			1						
技術史	2・3前		2				1					
言語文化科目	言語文化基礎科目Ⅰ	1前	1			3 3	2 4	3 3				教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5	4 4				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4	3 3				教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	3 5	4 4				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用	Academic English for the Second Year I	2前	1			3 3	2 1	1 0				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科目 I 言語文化基礎科目II 言語文化応用科目II 言語文化演習科目 日本語・日本文化科目	Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	1	0			教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語第一	1・2前		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	仏語第一	1・2前		1		1	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	仏語第二	1・2後		1		1	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								
	選択独語第一	1~4前		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択独語第二	1~4後		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択仏語第一	1~4前		1					1			
	選択仏語第二	1~4後		1					1			
	選択露語第一	1~4前		1						1		
	選択露語第二	1~4後		1						1		
	選択中国語第一	1~4前		1			1					
	選択中国語第二	1~4後		1			1					
選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1									
選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1									
英語演習	2前		2		4	3	3	4	1		教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
独語演習	2前		2		1	0	1	0			専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
独語運用演習	2後		2				1	0			専任准教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
仏語演習	2前		2									
仏語運用演習	2後		2									
露語演習	2前		2					1				
露語運用演習	2後		2					1				
中国語演習	2前		2			1						
中国語運用演習	2後		2			1						
韓国朝鮮語演習	2前		2									
韓国朝鮮語運用演習	2後		2									
日本語演習	2後		2									
国際文化演習	2前		2									
言語表現演習	2前		2									
日本語第一	1前		2		1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23)	
日本語第二	1後		2		1	2	1	0			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)	
日本語第三	2前		2		1						教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
日本文化A	1前		2									
日本文化B	1後		2									
日本文化C	2前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康スポーツ科学科目	日本文化D	2後		2								
	日本文化E	2前		2			1					
	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4-3				専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(24)	
	健康論	1・2後	1			4	2	3	5	4	専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24)	
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		4	2	3	1	2	専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24)	
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1	1				専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	生涯スポーツ演習C 生涯スポーツ演習D	2・3・4集中 2・3・4集中		1 1								
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2-3後		2		4	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。	
	物理学概論第三	2・3前		2		1					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	UECパスポートセミナー	1後		2		1	1				バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)	
	生物学	1・2・3後		2			1				学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)	
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		4	0	4	0		学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(24)	
	材料化学	1・2後		2		2	4	4	0		専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
	現代数学入門A	1+2-3後 2・3・4前		2		4	0	1			教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。	
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	4	0			より教育内容に即した担当者に変更(23)		
上級科目	A類 文化と現代社会	エートス論		2			1					
		人間と外交	3・4後 前		2			1				
		現代の世界政治	3・4後		2			1				
		宗教と倫理	3・4後		2			1				
		現代の教育	3・4前		2		1					
		教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2		1					
		教育の歴史	3・4後		2		1					
	人間と教育	3・4後		2		1						
	B類 言語によるコミュニケーション	日本語による文章表現	3・4前 後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
		Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
Research Writing		3・4後 (奇数年度開講)		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)	
	Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)		2		1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ニ ケ ー シ ョ ン	Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)
	English for Interpersonal Communication	3・4前後 (偶数年度開講)		2		4	0					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更するとともに、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(24)
	English for Intercultural Communication	3・4後 (奇数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2				1				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員1名で対応(24)
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2				1				
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2								
外国語とその運用B【独語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2				1					
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C 類	比較文化論	3・4後前		2		4	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)
	異文化の理解	3・4後		2				1				
	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前後		2				1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
文化と言語	3・4後		2		4	0	1				より教育内容に即した担当者に変更(24)	
D 類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		4	2	4	0			専任教員が平成23年度に専任教員に昇任(24)
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2				1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2				1		1		
	日本の科学と技術B	3・4後		2		4	0	4	2			専任教員が平成23年度に定年退職のため、専任教員に変更(24)
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2				1				
	倫理思想論	3・4後		2				1				
E 類	数学の哲学	3・4前		2		1						
	科学技術と人間	3・4前		2								
	科学技術と人間	3・4後		2				1				
	科学的实在論の可能性	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2								
F 類	情報と職業	3・4前		2								
	御伽草子の想像力	3・4前		2		1						
G 類	近代小説の人間学	3・4後		2		1						
	環境論	3・4前後		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代の科学	認知科学	3・4後		2			1					<p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)</p> <p>バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応(24)</p> <p>学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)</p> <p>教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)</p> <p>教育内容充実のため、専任教授6名、専任准教授6名で対応(24)</p>
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	2					
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	2					
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1						
	応用幾何学	3・4前		2			1					
	応用代数学	3・4後		2			1					
	現代化学	3・4後		2		6	6					
	H類	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1				<p>教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)</p> <p>専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)</p>
	健康とスポーツの科学	運動と筋の科学	3・4後 前		2		1	+	0			
		健康の科学	3・4後		2		1					
		エイジングの健康科学	3・4前		2		1					
スポーツとコミュニケーション		3・4後		2			1					
体力の科学		3・4後		2			1					
日常生活の対人関係		3・4前		2		1	+	0				
現代社会と対人関係	3・4後		2		1	+	0					
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			+	0			<p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)</p> <p>専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)</p> <p>教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)</p>	
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			+	0				
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			+	0				
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			+	0				
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			+	0				
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			+	0				
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			+	0				
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			+	0				
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			+	0				
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			+	0				
実践教育科目	初年次導入科目 基礎科学実験A	1通		2								<p>専任准教授負担軽減のため、専任教授4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)</p> <p>より教育内容に即した担当者に変更(23)</p> <p>実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)</p>
						3 5	4 7	9 +	5 7	12 12	14 10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 2		2	3	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24)より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)	
	コンピューターテラシー	1前	2			2 3	4 1	4 5	3 3	1 1	2 5	4 3 1 5	教育内容充実のため、専任教授4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1 4	2 7	8 9			2 5	1 1	専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)	
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)	
	電気通信大学概論	1前 <del>1通(隔週開講)</del> 1・2前	2			6	0					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)	
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4							
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1・2後 2・3前	2			1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)	
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後	2			1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)	
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2	3		1						キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)	
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前	2 2					4 4					
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前	2			1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
	知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後	2 2									教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7	3				専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7	3				専任准教授の負担軽減のため、専任教授7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
専門科目	理数基礎科目												
	微分積分学第一	1前	2			4 3	2 1	3 3	1 1	0		専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)	
	微分積分学第二	1後	2			2	3 2	4 4				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)	
	線形代数学第一	1前	2			2 1	3 1	1 2	1 1	0		専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	線形代数学第二	1後	2			2	1	4	2			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	解析学	1後	2			3	2	2	4	0	0	専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	数学演習第一	1前	1			1	0	3	1	2		教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)	
	数学演習第二	1後	1					3	4	2	0	教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	物理学概論第一	1前	2			10	6	2	6	3		専任教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)	
	物理学概論第二	1後	2			7	6	5	8	6	4	より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)	
	化学概論	1前	2			2	4	5	4	5	3	専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)	
学科 専門 基礎 科目	力学および演習	2前	3			2							
	材料力学および演習	2後	3			1		1					
	メカトロニクス	2前	2			1	2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)	
	メカノデザイン	2後	2			1	2	1			1	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(23)	
	機械力学および演習	2後	3			1	2	1	0			専任准教授が平成22年度に教授に昇任(23)	
	知能機械工学基礎	2後	2			18	14	17	12	14	8	9	専任教授1名が平成23年度に転入、専任助教1名が平成24年度に転出(24) 教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授14名、専任助教9名で対応(23)
	応用数学	2前		2				1					
	数値解析	2前		2				1	2				教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(23)
	電磁気学および演習	2前		3			1						
	リサイクル工学	2後		2									
	確率統計	2前		2			1	1	0				専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) 教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(23)
	プログラミング演習	2後		2					2				
	計算機工学	2後		2									
電気回路および演習	2前		3			1		1					
計測工学概論	2後		2			1							
工学解析および演習	2後		3			2							
① 専門 科目	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	18	12	14		12	8	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	18	12	14		12	8	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)
	マシンデザインI	3前	2					1	1				
	マシンデザインII	3後	2					1	1				
	輪講	4前	1			14		12			12		
	卒業研究	4後	4			14		12			12		
	ロボットの機構と力学	3前	2					1					
	人間機械システム	3前	2					1					
知能ロボット工学	3後	2			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ス	加工学および演習	3前		3		1	1						
	基礎制御工学および演習	3前		3		1	2					教育内容充実のため、専任教授2名 で対応 (24)	
	電子回路および演習	3前		3			2						
	熱力学および演習	3前		3		1	1						
	流体力学および演習	3後		3		1							
	材料工学	3後		2			1						
	メカトロニクス応用	3後		2		1	1						
	設計基礎工学	3前		2		1							
	機構要素設計	3前		2			1						
	電気エネルギーシステム	3前		2			1						
	電気電子計測	3前		2		2							
	生産システム工学	3後		2			1						
	現代制御工学	3後		2		1							
	計測システム工学	3後		2		1							
	信号処理工学	4前		2		1	1						
	生体システム工学	4前		2			1						
	デジタル制御	4前		2		1							
	自動車工学	4前		2									
	航空宇宙工学	4前		2									
	生物学実験	3前			2	1	1					教育内容充実のため、専任教授1 名、専任准教授1名で対応 (24)	
	地学第一	1前			2								
	地学第二	1後			2								
	地学実験	3前			2								
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任 (23)	
基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任 (23)		
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准 教授に昇任 (23)		
基礎物理学演習第二	1後		1			1	2	1	2		教育内容充実のため、専任准教授1 名、専任講師2名で対応 (22)		
情報処理演習第一	2前		2					1					
情報処理演習第二	2後		2					1					
② 専門 科目	知能機械工学基礎実験I	3前		2		14	18	12-14			12	8	教育内容充実のため、専任教授18 名、専任准教授14名、専任助教8名 で対応 (24)
	知能機械工学基礎実験II	3後		2		14	18	12-14			12	8	教育内容充実のため、専任教授18 名、専任准教授14名、専任助教8名 で対応 (24)
	マシンデザインI	3前		2									
	マシンデザインII	3後		2		1	1						
	輪講	4前		1		14	12				12		
	卒業研究	4後		4		14	12				12		
	設計基礎工学	3前		2		1							
	機構要素設計	3前		2			1						
	生産システム工学	3後		2			1						
	加工学および演習	3前			3	1	1						
	基礎制御工学および演習	3前			3	1	2						教育内容充実のため、専任教授2名 で対応 (24)
	電子回路および演習	3前			3		2						
	流体力学および演習	3後			3	1	1						
	熱力学および演習	3前			3	1	1						
	材料工学	3後			2		1						
	メカトロニクス応用	3後			2	1	1						
	ロボットの機構と力学	3前			2		1						
	人間機械システム	3前			2		1						
	電気エネルギーシステム	3前			2		1						
	電気電子計測	3前			2	2							
	知能ロボット工学	3後			2	1							
	現代制御工学	3後			2	1							
	計測システム工学	3後			2	1							
	信号処理工学	4前			2	1	1						
	生体システム工学	4前			2		1						
	デジタル制御	4前			2	1							
	自動車工学	4前			2								
	航空宇宙工学	4前			2								
	生物学実験	3前			2	1	1						教育内容充実のため、専任教授1 名、専任准教授1名で対応 (24)
	地学第一	1前			2								
	地学第二	1後			2								
	地学実験	3前			2								
基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任 (23)	
基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授 に昇任 (23)	
基礎物理学演習第一	1前		1			1	2	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准 教授に昇任 (23)	
						1	2	1	2			教育内容充実のため、専任准教授1 名、専任講師2名で対応 (22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	基礎物理学演習第二	1後		1			2 ↓	1 ↓	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
	情報処理演習第一	2前		2						1			
	情報処理演習第二	2後		2						1			
③	電子制御システムコース												
	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	18	12-14			12	8	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	18	12-14			12	8	教育内容充実のため、専任教授18名、専任准教授14名、専任助教8名で対応(24)
	マシンデザインI	3前	2						1	1			
	マシンデザインII	3後	2						1	1			
	輪講	4前	1			14	12				12		
	卒業研究	4後	4			14	12				12		
	基礎制御工学および演習	3前	3			↓	2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(24)
	現代制御工学	3後	2						1				
	計測システム工学	3後	2						1				
	加工学および演習	3前		3					1	1			
	熱力学および演習	3前		3					1	1			
	電子回路および演習	3前		3						2			
	流体力学および演習	3後		3					1				
	材料工学	3後		2						1			
	メカトロニクス応用	3後		2					1	1			
	ロボットの機構と力学	3前		2						1			
	人間機械システム	3前		2						1			
	設計基礎工学	3前		2					1				
	機構要素設計	3前		2						1			
	電気エネルギーシステム	3前		2						1			
	電気電子計測	3前		2					2				
	知能ロボット工学	3後		2					1				
	生産システム工学	3後		2						1			
	信号処理工学	4前		2					1	1			
	生体システム工学	4前		2						1			
	デジタル制御	4前		2					1				
	自動車工学	4前		2									
	航空宇宙工学	4前		2									
	生物学実験	3前			2				1	1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	地学第一	1前			2								
	地学第二	1後			2								
	地学実験	3前			2								
	基礎数学演習第一	1前		1					↓	2	↓	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1					↓	2	↓	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1					2	↓	↓	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1					2	↓	↓	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2							1		
	情報処理演習第二	2後		2							1		

- (注)・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
60	254	12	326	62	259	12	333	
				[ 2 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 7 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 先進理工学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前		2		1					
		哲学B	2・3後		2		1					
		倫理学A	2・3前		2			1				
		倫理学B	2・3後		2			1				
		心理学A	2・3前		2			1				
		心理学B	2・3後		2			1				
		歴史学A	2・3前		2							
		歴史学B	2・3後		2							
		科学史A	2・3前		2				1			
		科学史B	2・3後		2				1			
		文学A	2・3前		2			1				
		文学B	2・3後		2			1				
		美術A	2・3前		2							
		美術B	2・3後		2							
		音楽A	2・3前		2							
		音楽B	2・3後		2							
		経済学A	2・3前		2							
		経済学B	2・3後		2							
		社会学A	2・3前		2							
		社会学B	2・3後		2							
		法学A	2・3前		2							
		法学B	2・3後		2							
		政治学A	2・3前		2				1			
		政治学B	2・3後		2				1			
		地理学A	2・3前		2							
		地理学B	2・3後		2							
		社会思想史A	2・3前		2							
		社会思想史B	2・3後		2							
		文化人類学A	2・3前		2							
		文化人類学B	2・3後		2							
文章表現法	2・3前		2			1						
技術史	2・3前		2				1					
言語文化科目	言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1前	1			3 3	2 4	3 3			教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
		Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5	4 4			教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4	3 3			教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
		Academic Spoken English II	1後	1			2 3	3 5	4 4			教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic English for the Second Year I	2前	1			3 3	2 1	1 0			教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
科目 I	Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	1	0			教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応 (24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	言語文化基礎科目 II	独語第一	1・2前		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
		独語第二	1・2後		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
		仏語第一	1・2前		1		1	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
		仏語第二	1・2後		1		1	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
		露語第一	1・2前		1				1				
		露語第二	1・2後		1				1				
		中国語第一	1・2前		1								
		中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1									
韓国朝鮮語第二	1・2後		1										
言語文化応用科目 II	選択独語第一	1~4前		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	選択独語第二	1~4後		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	選択仏語第一	1~4前		1									
	選択仏語第二	1~4後		1									
	選択露語第一	1~4前		1				1					
	選択露語第二	1~4後		1				1					
	選択中国語第一	1~4前		1			1						
	選択中国語第二	1~4後		1			1						
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1									
	選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1									
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3	3	1			教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授3名で対応 (24) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語演習	2前		2		1	0	1	0			専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語運用演習	2後		2				1	0			専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)	
	仏語演習	2前		2									
	仏語運用演習	2後		2									
	露語演習	2前		2				1					
	露語運用演習	2後		2				1					
	中国語演習	2前		2			1						
	中国語運用演習	2後		2			1						
	韓国朝鮮語演習	2前		2									
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2									
	日本語演習	2後		2									
	国際文化演習	2前		2									
言語表現演習	2前		2										
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応 (22)	
	日本語第二	1後	2			1	2	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応 (22)	
	日本語第三	2前	2			1						教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
	日本文化A	1前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
本文化科目	日本文化B	1後		2								
	日本文化C	2前		2								
	日本文化D	2後		2								
	日本文化E	2前		2			1					
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1			1	4	3				専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任。また、教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			+	2	3 5	4			専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更。また、専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		+	2	3	1 2			専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1	1					
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1								
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1								
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2-3後		2		+	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	UECパスポートセミナー	1後		2		1	1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	生物学	1・2・3後		2			1					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		+	0	+	0			教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。 より教育内容に即した担当者に変更(23)
	材料化学	1・2後		2		2 2	+	+	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)
	現代数学入門A	1-2・3後 2・3・4前		2		+	0	1				現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更(24)
現代数学入門B	2・3・4前		2		1	+	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 現代数学入門A及び現代数学入門Bの担当教員が、平成23年度と担当科目を交替して担当することによる変更(24)	
上級科目	A類	エートス論	3・4前		2			1				
		人間と外交	3・4後 前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
		現代の世界政治	3・4後		2			1				
		宗教と倫理	3・4後		2			1				
	文化と現代社会	現代の教育	3・4前		2		1					
		教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2		1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
		教育の歴史	3・4後		2		1					
		人間と教育	3・4後		2		1					
B類	日本語による文章表現	3・4前 後		2		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	Reading Scientific Research	3・4前 (偶数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	Research Writing	3・4後 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コミュニケーション	Research Presentation	3・4前 (偶数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	Advanced Reading in Academic English	3・4後 (偶数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	English for Interpersonal Communication	3・4前 後 (偶数年度開講)		2		1	0					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更するとともに、教育体系のバランスを考慮し開講学期を変更。また、専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(24)
	English for Intercultural Communication	3・4後 (奇数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Communication in Academic Environments	3・4前 (奇数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後 (奇数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Overseas Study	3・4前 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	Preparation for Graduate School	3・4後 (偶数年度開講)		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教授1名で対応(24)
	English for Examinations	3・4前 (偶数年度開講)		2			1					バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	English for Workplaces	3・4後 (奇数年度開講)		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更(24)
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2			1					
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2		1						
外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2									
外国語とその運用B【独語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2			1						
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2		1							
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C類	比較文化論	3・4後 前		2		1	0					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、より教育内容に即した担当者に変更(24)
異文化の理解	地域文化論	3・4後		2			1					
	文化干涉論	3・4前		2			1					
	認知言語学	3・4前 後		2			1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	文化と言語	3・4後		2		1	0					より教育内容に即した担当者に変更(24)
D類	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	2	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
日 本 学	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2			1		1			
	日本の科学と技術A	3・4前		2			1					
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	0	2				専任教授が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24)
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2			1					
	日本の内政と外交	3・4前		2			1					
	倫理思想論	3・4後		2			1					
E類	数学の哲学	3・4前		2		1						
科学技術と人間	科学技術と人間	3・4前		2								
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2			1					
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2								
	情報と職業	3・4前		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
F類 芸術と人間	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
	近代小説の人間学	3・4後		2		1					
G類 現代の科学	環境論	3・4前 後		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	認知科学	3・4後		2			1				
	現代物理学を創った人々	3・4前 (偶数年度開講)		2		2	2				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(偶数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員2名、専任准教授2名で対応(24)
	物理学の発展と最前線	3・4後 (奇数年度開講)		2		2	2				バランスのとれた学習機会を提供するため、隔年開講(奇数年度開講)に変更。また、教育内容充実のため、専任教員2名、専任准教授2名で対応(24)
	サイエンス・コミュニケーション演習	3前		2		1					学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(24)
	応用幾何学	3・4前		2				1			教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(24)
	応用代数学	3・4後		2				1			
	現代化学	3・4後		2		6	6				教育内容充実のため、専任教員6名、専任准教授6名で対応(24)
H類 健康とスポーツの科学	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1				
	運動と筋の科学	3・4後 前		2		1	+	0			教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。また、専任准教授が平成24年度に専任教員に昇任(24)
	健康の科学	3・4後		2		1					
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1					
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2				1			
	体力の科学	3・4後		2				1			
	日常生活の対人関係	3・4前		2		1	+	0			専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任(24)
	現代社会と対人関係	3・4後		2		1	+	0			専任准教授が平成23年度に専任教員に昇任(24)
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			+	0			専任准教授が平成24年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3~4前 4前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
実践教育科目	Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後 4後		2			1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(24)	
	基礎科学実験A	1通	2			3 5	4 7	9 1	5 7	12 12	14 10	専任教員負担軽減のため、専任教員4名、専任准教授5名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教員7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)	
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 4	2 2		3	専任准教授2名が、平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教員3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)	
	コンピューターテラシー	1前	2			2 3	4 1	4 5	4 3	1 1	2 5	3 5	教育内容充実のため、専任教員4名、専任准教授4名、専任講師1名、専任助教3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教員1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1 7	2 7	8 9			2 5	1 1	専任准教授、専任助教負担軽減のため、専任教員2名、専任准教授8名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教員1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1										就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1前 1通(隔週開講) 1・2前	2			6	0						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	総合コミュニケーション科学	2後	2			4							教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1・2後 2・3前	2			1							教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2・3前 2・3後	2			1							キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)	
エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2 3			1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前	2 2					4 4					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
ベンチャービジネス概論	3・4後 前	2			1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
知的財産権	3・4前 後	2										教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
技術者倫理	3・4後	2										専任准教授の負担軽減のため、専任教員7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7	3				専任准教授の負担軽減のため、専任教員7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7	3					専任准教授の負担軽減のため、専任教員7名、専任准教授3名で対応。なお、学生の教育には支障はない。(24)	
専門科目	理数基礎科目	微分積分学第一	1前	2		4 1	3 3	2 1	3 3	1	0	専任准教授の負担軽減のため、専任教員3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
	微分積分学第二	1後	2			2	3 2	4 4				教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(24) 専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)		
	線形代数学第一	1前	2			2	1 1	3 2	1 2	1	0	専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)		
	線形代数学第二	1後	2			2	1	1	2			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)		
	解析学	1後	2			3	2	2 1	0 0	1	0	専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任教授2名、専任准教授2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)		
	数学演習第一	1前	1			1	0	3 1	2 2			教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(24) より教育内容に即した担当者に変更(23)		
	数学演習第二	1後	1					3 2	4 4	1	0	専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)		
	物理学概論第一	1前	2			10 6	9	2 6	3 3			専任准教授1名が平成24年度に専任教授に昇任(24) より教育内容に即した担当者への変更(22)		
	物理学概論第二	1後	2			7 6	8	5 6	4 4			より教育内容に即した担当者への変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)		
	化学概論	1前	2			2 4	4	5 5	3 3			専任准教授2名が平成23年度及び平成24年度に専任教授に昇任(24) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)		
学科専門基礎科目	力学	2前	2			2		1						
	波動と光	2後	2			2	3	1	0			より教育内容に即した担当教員への変更(23)		
	基礎電気・電子回路第一	2前	2			1		2				通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更(23)		
	基礎電気・電子回路第二	2後	2			2	1	1	2			専任教授1名が平成23年度に定年退職のため、専任准教授に変更(24) 通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更(23)		
	基礎電気・電子回路	2通	4			3		3						
	電気・電子回路実験	2後	2			2	1	4	2	1	0	5	4	専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教5名で対応(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手						
	電磁気学第一	2前	2			2	1					通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更。また、教育内容に即した担当教員への変更(23)				
	電磁気学第二	2後	2			2	3	1	0			専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)				
	電磁気学	2通	4			3	3					通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価する方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更。また、教育内容に即した担当教員への変更(23)				
	工学基礎数学	2前	2			1	2									
	化学熱力学	2前	2			1	2	1				専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24)				
	分子生物学	2後	2			1	1	1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任講師1名で対応(24)				
	先進理工学基礎	2後	2			21	20	14	16	15	2	1	14	15	16	専任教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授14名、専任講師1名、専任助教14名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
																専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授15名、専任講師1名、専任助教16名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
① 専 門 科 目	電子工学実験第一	3前	3			4	0	5	2			6	4			専任教授、専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名、専任助教4名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	電子工学実験第二	3後	3			4	0	5	3			6	2			専任教授、専任准教授及び専任助教の負担軽減のため、専任准教授3名、専任助教2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	輪講	4前	1			21		16		2		15				
	卒業研究	4後	4			21		16		2		15				
	応用数学	3前	2			1	0	2	3							より教育内容に即した担当者に変更(24)
	固体電子論	3前	2			1	2	1	0							専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	電気回路	3前	2					1								
	電気回路演習	3前	1					1					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任助教1名で対応(24)
	論理回路学	3後 前	2					1								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	半導体工学	3後	2			1	0	1								専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	電子回路学	3後	2			1		1								
	電子デバイス	3後	2			1		1								
	熱・統計物理学第一	3前		2			1	2	1	0						専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	計算数理工学	3前 後	2				1	1	0							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	光電子材料学	3前 後	2				1	2	1	0						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	計測物理実験学	3前	2					1								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	信号処理論	3後 4前	2					1								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	回折結晶学	3後	2				1	1	0							より教育内容に即した担当者に変更(24)
	基礎量子工学	3前	2				1									
	線形システム理論	3後	2				1	0		1						より教育内容に即した担当者に変更(24)
	量子力学第一	3後	2						1							
	量子力学第一演習	3後	1						1				2			
	画像工学	3後	2						1							
	量子エレクトロニクス	4前 3後	2				1	2	1	0						専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	環境工学	4前	2				1									教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	電磁波工学	4前	2						1							
通信システム学	3後	2				1									学生の学習機会を増やすため選択科目を追加(24)	
生物学実験	3前		2			1		1							教育内容の充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)	
地学第一	1前		2													
地学第二	1後		2													
地学実験	3前		2													
UECパスポートプログラム I	2通		2			1										学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	UECパスポートプログラムⅡ	3通			2	1						学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)	
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
	基礎物理学演習第一	1前		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
	基礎物理学演習第二	1後		1			1	1	2			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
	情報処理演習第一	2前		2					1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
	情報処理演習第二	2後		2					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
②	光エレクトロニクス実験第一	3前	3			5	0	3	2	1	0	3	専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任准教授2名、専任助教3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	光エレクトロニクス実験第二	3後	3			5	1	3	2	1	0	3-2	専任教授、専任准教授、専任講師及び専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教2名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	輪講	4前	1			21	16		2			15	
	卒業研究	4後	4			21	16		2			15	
	応用数学	3前	2			1	0	2	3				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	光電子材料学	3前 後	2			1	2	1	0				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	基礎量子工学	3前	2				1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	固体電子論	3前	2			1	2	1	0				専任准教授が平成24年度に専任教授に変更(24)
	光波工学	3後	2				1						
	量子エレクトロニクス	3後	2			1	2	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	画像工学	3後	2					1					
	光通信工学	4前 3後	2				1						バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	電磁波工学	4前 3前	2					1					バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	計算数理工学	3前 後	2				1	1	0				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	熱・統計物理学第一	3前	2			1	2	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	生体計測工学	3前	2					1					
	物理化学	3前	2					1					
	電子回路学	3後	2				1	1					
	計測物理実験学	3前	2					1					
	通信システム学	3後	2				1	1	0				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	半導体工学	3後	2			1	0	1					専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。
	熱・統計物理学第二	3後	2				1	1	0				専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	信号処理論	4前	2					1					
	高分子機能科学	4前	2					1					
	生物学実験	3前			2		1		1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	地学第一	1前			2								
	地学第二	1後			2								
	地学実験	3前			2								
	UECパスポートプログラムⅠ	2通			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラムⅡ	3通			2	1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2		1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後		1			1	1	2				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2					1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第二	2後		2					1				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
③	応用物理工学実験第一	3前	3			4	0	2	0			2	専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任助教2名及び兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
用 物 理 工 学 コ ー ス	応用物理工学実験第二	3後	3			4	0	2	1	2	3	専任教員の負担軽減のため、専任准教授2名、専任講師1名、専任助教3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)		
	輪講	4前	1			21	16	2		15				
	卒業研究	4後	4			21	16	2		15				
	応用数学	3前	2			+	0	2	3				より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	解析力学	3前	2			1								
	熱・統計物理学第一	3前	2			+	2	+	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
	熱・統計物理学第二	3後	2			1		+	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)	
	固体物理工学第一	3前	2			+	0	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)	
	固体物理工学第二	3後	2			1								
	量子力学第一	3後	2					1						
	量子力学第一演習	3後	1								2			
	コンピュータ演習	3前		2				1					1	教育内容充実のため、専任准教授1名、専任助教1名で対応(24)
	計測物理実験学	3前		2				1						
	計算数理工学	3前 後		2			1	+	0					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	固体電子論	3前		2			+	2	+	0				専任准教授が平成24年度に専任教授に昇任(24)
	光波工学	3前 後		2			1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	半導体工学	3後		2			+	0	1					専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	光電子材料学	3後 前 後		2			+	2	+	0				より教育内容に即した担当者に変更(24)
	回折結晶学	3後		2			1		+	0				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	電子デバイス	3後		2			1							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	量子力学第二	4前		2			1							より教育内容に即した担当者に変更(24)
	量子エレクトロニクス	4前 3後		2			+	2	+	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	電子回路学	3後		2			1		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	生体システム工学	4前		2					1					
	高分子機能科学	4前		2					1					
	生物学実験	3前			2		1		1					教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	地学第一	1前			2									
	地学第二	1後			2									
	地学実験	3前			2									
	UECパスポートプログラム I	2通			2		1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラム II	3通			2		1							学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	基礎数学演習第一	1前		1			+	2	+	0				専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			+	2	+	0				専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
基礎物理学演習第一	1前		1					2	1		2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)		
基礎物理学演習第二	1後		1					2	1		2	教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)		
情報処理演習第一	2前		2					1						
情報処理演習第二	2後		2					1						
④ 生体機能システム演習第一	3前		1			2					1	教育内容充実のため、専任教授2名、専任助教1名で対応(24)		
生体機能システム演習第二	3後		1			2		1		1		教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名、専任講師1名で対応(24)		
生体機能システム実験第一	3前		3			+	2	+	0	1	2	専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)		
生体機能システム実験第二	3後		3			3	5	3			2	0	より教育内容に即した担当者に変更(24)	
輪講	4前		1			21	16	2		15				
卒業研究	4後		4			21	16	2		15				
無機化学	3前		2			1								
物理化学	3前		2					1						
有機化学	3前		2			1								
生体機能分子工学	3前		2						1					
生体計測工学	3前		2					1						

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	細胞生物学	3前	2				1					
	分子分光學	3後	2			1						
	神経科学	3後	2			1						
	有機物質工学	3後		2		1	<del>1</del> 0					専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
	量子化学	3後		2		1		1				
	画像工学	3後		2				1				
	環境工学	4前		2		1						
	システム生物学	4前		2		1						
	生体システム工学	4前		2				1				
	高分子機能科学	4前		2				1				
	生物学実験	3前			2	1		1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(24)
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	UECパスポートプログラム I	2通			2	1						学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	UECパスポートプログラム II	3通			2	1						学生の学習機会を増やすため自由科目を追加(24)
	基礎数学演習第一	1前		1			<del>1</del> 2	<del>1</del> 0				専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			<del>1</del> 2	<del>1</del> 0				専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
							<del>1</del>	<del>1</del> 2				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1				専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
							<del>1</del>	<del>1</del> 2				教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2				1				
	情報処理演習第二	2後		2				1				

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
87	239	16	342	91	245	24	360	
				[ 4 ]	[ 6 ]	[ 8 ]	[ 18 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<情報理工学部 先端工学基礎課程（夜間主）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	哲学	1・2・3・4前後		2		1					改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	倫理学	1・2・3・4後		2		4	0	1			より教育内容に即した担当教員への変更(23)	
	心理学	1・2・3・4前後		2				1			改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	歴史学	1・2・3・4後前		2							改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	科学史	1・2・3・4前後		2				1			改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	文学	1・2・3・4後		2		1						
	美術	1・2・3・4前		2								
	音楽	1・2・3・4後前		2							改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	社会学	1・2・3・4前		2								
	経済学	1・2・3・4後前		2							改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	法学	1・2・3・4前		2								
	政治学	1・2・3・4後		2				1				
	地理学	1・2・3・4前		2								
	社会思想史	1・2・3・4後前		2							改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	文化人類学	1・2・3・4前後		2							改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)	
	上級科目	科学という文化	2・3後		2							
		科学技術と人間	3・4前		2							
		自然科学的世界像	3・4 2・3後		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
		国際文化論	2・3後		2							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(24)
	国際技術協力論	3・4前後		2								
	言語文化科目	Academic Written English I	1前	1			4	0				専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Written English II	1後	1				4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Spoken English I	1前	1			4	0				専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Spoken English II	1後	1				4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic English for the 2nd Year I	2前	1			4	0				専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		Academic English for the 2nd Year II	2後	1				4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		Academic Writing in English	3前	1			4	0				専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
		Academic Presentation in English	3後	1				4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	健康科学科目	健康実践論	1前	2			4	2	3	2	2	4
理工系教養科目	宇宙・地球科学	2・3後		2		1						
	現代物理学概論	3・4前		2		1		1			教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員1名で対応(24)	
	環境科学	3・4 2・3後		2		4	0	1			バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更。より教育内容に即した担当教員へ変更(23)	
	応用幾何学	2・3後		2		4	0	1			より教育内容に即した担当教員へ変更(23)	
応用代数学	2・3後		2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
実践教育科目	初年次導入科目	アカデミックリテラシー	1前	2			1	2	0		2	0	専任准教授、専任助教の負担軽減のため、専任教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		コンピュータリテラシー	1前	2			1	0	2	1	1		専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任助教1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(22)
		基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	0	2	1			専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名、兼任教員1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当教員への変更(22)
		基礎科学実験	1後	2			1	0	1	0	1		より教育内容に即した担当者に変更(24) 実験教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(22)
		総合コミュニケーション科学	2後	2			2	0	1				専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
	産学連携教育科目	技術課程演習Ⅰ	3前	2			2	1			2	0	専任教授及び専任助教の負担軽減のため、専任教授1名及び兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
		技術課程演習Ⅱ	3後	2			2	0			2	0	専任教授及び専任助教の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)
		インターンシップⅠ	2前 後	2			1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
		インターンシップⅡ	3前	2			1						
	技術者教養科目	技術者倫理と知的財産	4前	2									
マーケティング科学		4前	2										
専門科目	理数基礎科目	基礎微積分学第一	1前	2			1	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		基礎微積分学第二	1後	2									より教育内容に即した担当者に変更(24)
		ベクトルと行列第一	1前	2			1	1	2				教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(22)
		ベクトルと行列第二	1後	2			0	2	2	1	0		より教育内容に即した担当教員への変更(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)
		基礎解析学	2前	2	2		2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
		基礎物理学第一	1前	2			1						
		基礎物理学第二	1後	2			1	1	0				専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(24)
		基礎物理学第三	2前	2	2								専任准教授1名が平成23年度に専任教授に昇任(23)
		化学結合と構造	1前	2	2		1	2	1				教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(22)
①	専門基礎科目	応用数学A	2前	2			1	2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
		応用数学B	2後	2			1	1	0	1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(23)
		確率統計	2後	2			1						教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)
		プログラミング通論および演習	2前	2			1	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)
		論理回路学	2前	2			2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
		電磁気学および演習	2前	3			1	2	2	1	1	0	専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24) より教育内容に即した担当教員への変更(23)
		電気回路学および演習	2後	3			1	0	2	1	2	0	より教育内容に即した担当者に変更(24) 専任教授、専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		基礎電子工学	3前	2			1	1			1	0	専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(24)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	情報・メディア・通信プログラムコース	回路システム学	3前		2		1					教育内容充実のため、専任教授1名 で対応(24)		
		離散数学	3前	2			1	0	1			より教育内容に即した担当者に変更 (24)		
		情報通信と符号化	3前	2			1							
		アルゴリズム・データ構造および演習	3後	2			1	1	0		2	0	専任准教授及び専任助教の負担軽減 のため、専任教授1名で対応。な お、学生の教育に支障はない。(24)	
		制御工学	3前		2				1				教育内容充実のため、専任准教授1 名で対応。	
		設計工学	3前		2		1						教育内容充実のため、専任教授1名 で対応(24)	
		電子回路学	3後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当教員に変 更(24)	
		専門基礎実験A	3前	2				1	0				専任准教授の負担軽減のため、兼任 教員で対応。なお、学生の教育に支 障はない。(24)	
	専門科目	計算機工学	2後	2			1	0	1				より教育内容に即した担当教員への 変更(23)	
		信号処理論	3前	2					1					
		電磁波工学	3後	2					1					
		組み込みシステム	3前	2			1							
		情報メディアシステム	3後	2			1	1	0		1		教育内容充実のため、専任教授1 名、専任助教1名で対応(24)	
		知能システム	4前	2			1							
		通信・ネットワーク	3後	2			1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
		暗号情報セキュリティ	4前	2			1							
		計測工学	3後		2		1	0	1				より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
		メカトロニクス	3後		2		1	1	0				より教育内容に即した担当者に変更 (24)	
		ロボティクス	4前		2				1					
		ヒューマンインタフェース	4前		2		1							
② 電子・機械・制御プログラムコース	先端トピックスA	4前	2			2	2							
	先端トピックスB	4前	2			2	2							
	専門実験A	3後	2				1	0		2	3	より教育内容に即した担当者に変更 (24)		
	輪講A	4前	2			3	3							
	卒業研究A	4後		4		5	5							
	応用数学A	2前	2			1	2					教育内容充実のため、専任教授2名で 対応(23)		
	応用数学B	2後	2			1	1	0	1			教育内容充実のため、専任教授1名、 専任講師1名で対応(23)		
	確率統計	2後	2			1						教育内容充実のため、専任教授1名で 対応(23)		
	プログラミング通論および演習	2前	2			1	0	1				より教育内容に即した担当教員への 変更(23)		
	論理回路学	2前	2			2						教育内容充実のため、専任教授2名で 対応(23)		
専門基礎科目	電磁気学および演習	2前	3			1	1	2	1		1	0	専任教授及び専任准教授の負担軽減 のため、専任教授1名、専任准教授1 名で対応。なお、学生の教育に支障 はない。(24)	
	電気回路学および演習	2後	3			1	1	0	2	1		2	0	より教育内容に即した担当者に変更 (24)
	基礎電子工学	3前	2					1	1			1	0	専任助教の負担軽減のため、専任教 授1名、専任准教授1名で対応。な お、学生の教育に支障はない。(24)
	回路システム学	3前		2		1								教育内容充実のため、専任教授1名 で対応(24)
	離散数学	3前		2		1	0	1						より教育内容に即した担当者に変更 (24)
	情報通信と符号化	3前		2		1								
	アルゴリズム・データ構造および演習	3後		2		1	1	0			2	0	専任准教授及び専任助教の負担軽減 のため、専任教授1名で対応。な お、学生の教育に支障はない。(24)	
	制御工学	3前		2				1						教育内容充実のため、専任准教授1 名で対応。
電子・機械・制御プログラムコース	設計工学	3前		2		1								教育内容充実のため、専任教授1名 で対応(24)
	電子回路学	3後		2		1	0	1						より教育内容に即した担当教員に変 更(24)
	専門基礎実験B	3前		2			1	0						専任准教授の負担軽減のため、兼任 教員で対応。なお、学生の教育に支 障はない。(24)
	計算機工学	2後	2			1	0	1						より教育内容に即した担当教員への 変更(23)
	信号処理論	3前	2					1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	電磁波工学	3後	2				1					
	組み込みシステム	3前	2			1						
	情報メディアシステム	3後		2		1	<del>1</del> 0			1		教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(24)
	知能システム	4前		2		1						
	通信・ネットワーク	3後		2		<del>1</del> 0	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)
	暗号情報セキュリティ	4前		2		1						
	計測工学	3後	2			<del>1</del> 0	1					より教育内容に即した担当者に変更(24)
	メカトロニクス	3後	2			1	<del>1</del> 0					より教育内容に即した担当者に変更(24)
	ロボティクス	4前	2				1					
	ヒューマンインタフェース	4前	2			1						
	先端トピックスA	4前		2		2	2					
	先端トピックスB	4前	2			2	2					
	専門実験B	3後	2				<del>1</del> 3			2	1	教育内容充実のため、専任准教授3名、専任助教1名で対応(24)
	輪講B	4前	2			3	3					
	卒業研究B	4後		4		3	3					

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
72	48	0	120	72	48	0	120	
				[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	運動場用地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室	
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		〇〇学部 ( [ ] )	( [ ] )	( [ ] )	( )	( )	( )
	計	( [ ] ) ( [ ] )	( [ ] ) ( [ ] )	( [ ] ) ( [ ] )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )
	〇〇学部	( [ ] )	( [ ] )	( [ ] )	( )	( )	( )
(6) 図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m <sup>2</sup>						
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m <sup>2</sup>						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等 千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
電気通信学部 (昼間コース)								東京都調布市 調布ヶ丘1丁目 5番地1号	平成22年度から 学生募集停止
情報通信工学科	4	-	-	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	-	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	-	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-	-	-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	-	-			平成11年度		
システム工学科	4	-	-	-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	工学		平成11年度		
情報通信工学科	4	-	-	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	-	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	-	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-	-	-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	-	-			平成11年度		
システム工学科	4	-	-	-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科	4	-	-	-			平成11年度		

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 総合情報学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容  記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況(教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等
---

- (注)・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  .....
② 自己点検・評価報告書  a 公表（予定）時期  記入例） ・平成24年5月1日 公表  b 公表方法  記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）
③ 認証評価を受ける計画  記入例） ・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成24年 6月29日 )

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 情報・通信工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況(教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  .....
② 自己点検・評価報告書  a 公表（予定）時期  記入例） ・平成24年5月1日 公表  b 公表方法  記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）
③ 認証評価を受ける計画  記入例） ・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成24年 6月29日 )

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 機械知能工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況(教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成24年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成24年 6月29日 )</p>
--

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 先進理工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況(教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見  .....
② 自己点検・評価報告書  a 公表（予定）時期  記入例） ・平成24年5月1日 公表  b 公表方法  記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）
③ 認証評価を受ける計画  記入例） ・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書
a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成24年 6月29日 )

## 7 その他全般的事項

<情報理工学部 先端工学基礎課程（夜間主）>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目（1科目・2単位）を追加。（別添〇「新旧対象表」参照）  ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋（〇㎡）増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況（教員の参加状況含む）  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況、方法等
---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成24年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成24年 6月29日 )</p>
--